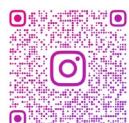




2024年度 年次報告書

(2024年4月1日から2025年3月31日)



@YAMACCLE_AGROFORESTRY

ヤマックル・アグロフォレストリー

〒640-1111 和歌山県海草郡紀美野町福井1111-24
✉ yamacle@gmail.com

ヤマックル・アグロフォレストリーとは

設立者の白井と宮下は、2023年から紀美野町に暮らし始めました。自分たちが癒され、楽しんでいる豊かな森や川のある風景を守り、そこから生業にもつなげたいと、仲間を募って活動することにしました。ヤマックル・アグロフォレストリーは、紀美野町および近隣の里山及び耕作放棄地を再活用したコミュニティビジネスに取り組む人（移住者、先住者、関係人口）を増やし、自然資源の地域内循環と経済効果を生むことを目ざします。

代表ご挨拶

ヤマックル・アグロフォレストリーの活動に参加いただいた皆さん、ご支援いただいた和歌山県紀美野町内外の皆さん及び木の国協議会の皆さんに心からの感謝を申し上げます。

ヤマックル・アグロフォレストリーは2024年度から活動をスタートさせました。幸いにも林野庁交付金の採択を頂いたおかげで、11月から翌2月まで多くのボランティアの参加のもと紀美野町大字福井で竹林整備活動を行うことができました。

この竹林整備活動中、一人も怪我なく作業を実施できたことに、まずはほっとしております。そしてこの間、竹林整備の手法や課題などを団体内で少しずつ構築できたことが何より貴重な財産となりました。活動の様子はインスタグラムをご覧頂ければ幸いです。

2025年度は、さらに活動を進展させ、紀美野町の里山整備そして自然資源の持続的活用を通じた経済活動を本格化させて行きたいと考えております。具体的には、竹林整備活動を継続・拡充するとともに、休眠預金活用事業のご支援による3年間にわたる活動を開始することにより、地域（紀美野町のみならず、紀北地方）の里山・森林の自然資源を活用した自伐型林業を推進していきます。また、これらの活動をより充実、安定させるため、年度内にNPO法人化を実現させる予定です。

皆様におかれましては、ヤマックル・アグロフォレストリーの活動へのご参加ならびにご支援を賜れば幸いです。

白井宏明
ヤマックル・アグロフォレストリー代表
紀美野町地域おこし協力隊員（自伐型林業）



2024年度の活動1 森を整える

竹林整備

以前は住居、棚田・段々畑、傾斜地で構成されていた放置山林2.1ヘクタールのうち、東側5分の1程度（約0.2ヘクタール）の竹をすべて伐採しました（推定1,000本程度）。

期間・回数	22回（2024年11月1日から2025年2月13日）
場所・面積	紀美野町福井の山林2.1ヘクタール
参加者数	のべ133人（スタッフ・ボランティア総数23人が1回～複数回参加）



森のマップづくりワークショップ

森林インストラクターの岸本勇樹さん（NPO法人わかやま環境ネットワーク/木の国協議会）を講師に迎え、整備中の森を散策・調査してマップに落とし込みました。癒しスポット、貴重なキノコや薬用植物、昔の人の痕跡、動物の通り道など、各自の関心に応じて見つけたものをアプリに記録し、最後はマップを制作。これから森の活用を考える良い材料ができました。

日時	2025年2月16日
場所	紀美野町福井の山林
参加者数	9人

*竹林整備・マップ作りワークショップ・クラフト体験会には、林野庁の助成制度「森林・山村多面的機能発揮対策交付金」を活用しました。

2024年度の活動2 森の恵みを使う

クラフト体験会「里山の恵み」

紀美野町滝ノ川でホップ栽培に取り組むグループと共に、Herbal Life MeguriのSatomiさんを講師に迎えて、ホップやハーブ類と杉・ヒノキの枝を組み合わせたリースづくりをしました。

日時	2024年10月14日
場所	川の家たくあん、紀美野町福井の山林
参加者数	13名



竹チップの製造・活用

竹林整備で伐採した竹をチッパーで処理しました。できた竹チップは林内に敷設したほか、希望者に試用品としてお譲りし、庭への敷設や家庭菜園用のマルチ、コンポスト基材として活用して頂きました。

2024年度の活動3 活動基盤を整える

任意団体として活動をスタート。1年間を通じて、会則・帳簿のほか、データ共有(Googleドライブ)・情報発信(Instagram)・情報共有(LINEグループ)の仕組みを必要に応じて作っていきました。

Member's Voice

自然いっぱい 紀美野で山仕事

竹林の整備は体力仕事でしんどかったですが、子どもや若い人達と一緒に汗を流した活動はとても心地良く、達成感もありました。都会ではできない経験で、自然いっぱいの紀美野の良さを感じました(ボランティア謝金も有り難かったです。)

地図作りも、山の活用方法を出し合いながら、歩き、ワクワクして、夢を頂きました。たけのこ堀り、キャンプ、ハンモックを吊って森林浴、お茶摘み、棕櫚の葉や竹を使ったものづくり…。

ヤマックルの活動で、地域のつながりが広がってきたのも感じました。

奥田郁子
ヤマックル・アグロフォレストリー世話人



左が筆者。同じくヤマックル・アグロフォレストリー世話人の夫・奥田和重さんと。

2025年度の計画1

森の担い手を支える



新たな事業として、3年間の「紀北エリアの自伐型林業のハブ機能形成プロジェクト」を開始します。

自伐型林業とは、山主や地域住民が自ら山に入り、木を切り出して販売する林業形態です。参入障壁が低く、幅広い就労を実現できると共に、採算性と環境保全を両立させることができる森林経営手法として、各地で導入が進んでいます。紀美野町は2023年以降、自伐型林業を推進しています。

このプロジェクトでは、自伐型林業による生業づくりと、自伐型林業に取り組もうとする人を支える仕組みづくりに取り組みます。

*このプロジェクトは休眠預金等活用事業「地域山林の未来を担う林業者サポート事業」の一環として実施します。

森を整える

昨年度に引き続き、紀美野町内の森林整備に取り組みます。既に着手した福井の山林に加えて、今までに相談が寄せられた町内の山林・放置竹林での施業も検討中です。



2025年度の計画2

森の恵みを使う

薪や竹チップ、クラフト素材（枝もの・木の実・ツルなど）の製造・販売や散策・休息場所としての森の利用など、森の恵みを生業に結び付けられるよう一つ一つ試行していきます。

活動基盤を整える

任意団体としてスタートしたヤマックルのNPO法人化を目指して、運営に必要な仕組みやルールを整備します。また、多様な人が安全に、安心して活動に参加するための研修開催やガイドライン策定に取り組みます。



Member's Voice

竹は邪魔者？

放置竹林の整備を手がけるようになって以来、電車や車から景色を見る際、つい竹が気になってしまふようになりました。一体いつからこんなに荒れた竹林が増えたんだろう？

ひとつの要因として「竹が使われなくなったから」ということが

あるようです。統計を調べてみると、日本の竹材生産量は、1967年の時点で14,000束だったものが1975年では3,941束と、3分の1以下に激減しています（林野庁「特用林産物生産統計調査」）。その後も減少を続け、1980年代以降は横ばい・微減となり、2020年の時点で1,030束です。激減の背景には、70年代の2度のオイルショックを経て、プラスチック素材が大きく普及したことがあると推測します。

プラスチックの原料である石油はいつか枯渇するもの。

一方で竹は再生・循環するもの。

「邪魔なもの」としてみると、竹の成長の早さは憎らしいほどですが、「資源」としてみると、使っても使っても再生する魔法の素材かもしれません。そんなことも考えながら、今後も、森と自分の暮らしとの関係を再構築していきたいなと思います。

宮下和佳

ヤマックル・アグロフォレストリー世話人
(特活) ムラのミライ専務理事

2024年度 会計報告

団体名：ヤマックル・アグロフォレスター

活動計算書

2024年 4月 1日 ~ 2025年 3月 31日まで

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費		12,000	
2. 受取寄付金		1,670,000	
3. 受取助成金等		1,010,000	
4. 事業収益		6,000	
5. その他収益		123	
経常収益計			2,698,123
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費		0	
給与手		0	
人件費計			
(2) その他経費			
ボランティア謝金	636,000		
消耗品費	77,283		
燃料費	17,880		
印刷製本費	2,940		
保険料	99,566		
外注費	20,000		
新聞図書費	5,940		
振込手数料	1,744		
減価償却費	350,000		
その他経費計	1,211,353		
事業費計		1,211,353	
2. 管理費			
(1) 人件費		0	
人件費計		0	
(2) その他経費			
印刷製本費	0		
通信運搬費	0		
雑費	0		
その他経費計	0		
管理費計		0	
経常費用計			1,211,353
当期正味財産増減額			1,486,770
前期繰越正味財産額			0
次期繰越正味財産額			1,486,770

団体名：ヤマックル・アグロフォレスター

貸借対照表

2025年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	31,230		
流动資産合計		31,230	
2. 固定資産			
機械装置(竹チッパー)	1,455,540		
固定資産合計		1,455,540	
資産合計		1,486,770	
II 負債の部			
1. 流動負債			
流动負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計		0	
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	0		
当期正味財産増減額	1,486,770		
正味財産合計		1,486,770	
負債及び正味財産合計		1,486,770	

団体名：ヤマックル・アグロフォレスター

財産目録

2025年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	31,230		
手許現金	0		
SEBI新生銀行さくら支店		31,230	
流动資産合計		31,230	
2. 固定資産			
機械装置(竹チッパー)	1,455,540		
固定資産合計		1,455,540	
資産合計		1,486,770	
II 負債の部			
1. 流動負債			
流动負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計		0	
III 正味財産			
正味財産		0	

ご参加ください

会員・サポーターになる



お問い合わせフォーム

ヤマックルの活動を応援してくださる方は、ぜひ会員/サポーターになってください。

正会員	年会費3,000円
サポーター	年会費3,000円～
寄付	任意の金額

活動場所を提供する

ご自身や家族・友人の所有する山林の手入れをしたいという方は、お気軽にご相談ください。

購入する・販売する

薪や竹チップ、クラフト素材（枝・木の実・ツルなど）を買いたい/お店などで売りたいという方は、ぜひお声がけください。

